

| 方針と重点 | 市の基本 | 学校の教育目標 | 資質・能力 | 基本となる関わり | 本年度新たな学校の重点 | 具体的な実践内容または観点 (達成度はどうか) | 評価 A S D | 分析と改善点 | |
|--|--|--------------------------|-------|----------|--|------------------------------------|--|---|---|
| 方針・重点 ・挑戦 ・高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む | ① 深い学び ② 地域性を生かす ③ 地域社会への発信 ④ 一人ひとりの居場所 | ひとり歩きができる子 自ら願いをもち動く力 | 資質・能力 | 考える子 | ① 基礎学力の定着 | ・聴く力 ステップアップ ・「書く」「読む」の位置付けと見届け | B | ・話し手の内容を理解すること、ノートやタブレットに自分の考えをまとめること、根拠を明らかにして話すこと等に弱さが見られ、より基礎学力を定着させる必要がある。そのためには児童に読解力を身に付けさせていくこと、図書館と連携しながら読書習慣を大事にすることを全職員で確認した。 ・研究主任のリーダーシップの下、算数では効果的なウエブラーニングの活用等、具体的な取組をもとにしながら研究に臨めた。 | |
| | | | | | ① 学ぶ意欲の高まり | ・1単位時間の見通しをもつ（算数科） | A | | |
| | | | | | やさしい子 | ② 仲間と深く関わる力 | ・多様な他者を理解する「ひびき合い集会」の充実 ・いじめ防止授業（年3回） | | A |
| | | | | | | ② 仲間と達成する喜び | ・行事、学級、期ごとのPDCAの位置づけ | | B |
| | | | | | 元気な子 | ② 自他の心と体を大切に | ・各種行事での、体力向上目標の設定 ・「廊下や階段を走る子がいない学校」→自己管理能力 | | B |
| | | | | | | ② 安全にかかわる意識と知識 | ・多様な「命を守る訓練」 | | A |
| 学校運営協議会における主な評価内容 | | | | | ・学校全体に、落ち着いた空気が感じられるようになっている。 ・タブレットや電子黒板等もほとんどの職員が使いこなせており、児童の学習は質、量ともに確保できている。 ・高学年の一部で服装や髪型など気になった。多様性と集団生活とどう折り合いをつけるか、答えは簡単ではない。 ・「通学の責任は保護者にある」という問題提起をしてもらったことで、保護者の意識が高まった。 | | | | |